

鎌倉市議会議員



地域政党 鎌倉  
世代を超えて支えあえるまちへ

# 細川まなか

令和7年市長選・行政視察特集

育児と  
介護の  
二刀流

議会レポート 04

令和7年11月発行



## 第25代鎌倉市長が決定！

10月26日投開票の鎌倉市長選挙2025では、31,535票で現職の松尾たかし氏が5期目の当選。投票率は40.91%（前回41.78%、前々回60.12%、4月の市議選は47.66%）全国的に投票率は低下傾向にあるものの、長期政権や候補者の構図への諦めも感じられる。

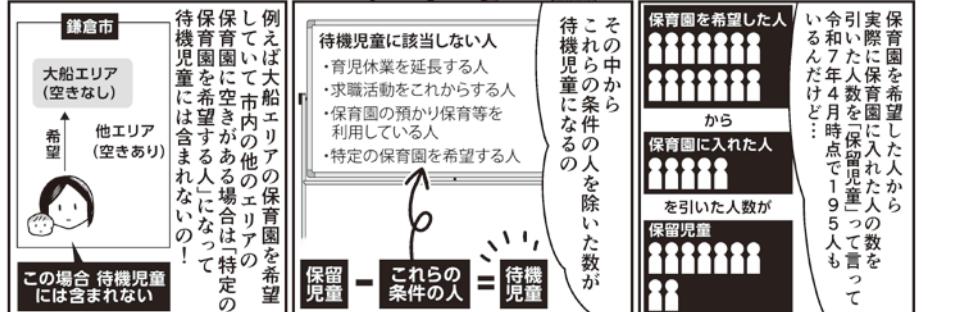


くりはら えりこ	24,829票
松尾 たかし	31,535票
うめざわ やすお	1,922票
ひろせ こういち	1,598票

【松尾たかし市長の政策の注目ポイント】

- ペット同伴避難所の整備→これまで場所がなくできないしてきたが、打開策はある？
- バス減便地域について、バス会社に補助金を出して現状のバス便の維持や増便に。  
→バスの減便は全国的な課題。単に補助金を出すだけで解決が可能か。
- 観光客集中地域に有料トイレを整備→兼ねてから提案されてきたもののまだ実現せず。
- 宿泊税の導入→早急な実現で観光財源の確保を。宿泊率の向上や宿泊施設の増設も課題。
- 大型観光バスを対象としたロードプライシング導入→徴収方法は？実現可能な具体案は？
- 小中学校給食の無償化、中学校給食の食缶方式化（温かいおかげの提供）→国は小学校は令和8年度から、中学校は「できる限り速やかに」無償化予定。市として先行実施する？
- 第二子保育料無償化の、第一子の年齢制限を撤廃→9月議会での陳情をそのまま取り入れ。国の基準で、第一子が小学校に上がると第二子の無償化は対象外。実現は市長の決断次第。
- 小中学校の体育館に冷房設備を設置→9月議会で令和8年度当初予算での予算化を目指しているとの回答。予算化から全校設置までの期間が重要。
- 保育園の待機児童をゼロ、保留児童ゼロ→市は令和6年度まで保育園を増設せず待機児童数県内ワースト1に。令和7年から方針転換し保育園を増設。優先度の低さが垣間見える。
- 介護人口ボット導入で重介護ゼロ社会→どこに？施設への導入補助？居宅介護における補助？
- 図書館の環境を充実→市庁舎機能の一部を深沢に移転、現庁舎で図書館の複合化。本を借りる場所だけでなく、カフェや子供の遊び場の併設等、居場所としての図書館を求める。
- 大船駅東口駐輪場（令和7年3月老朽化により閉鎖）老朽化対策の上、駐輪場として運用。
- 新庁舎整備は本庁舎の位置を変えず、防災機能を備えた新庁舎を深沢に。位置条例の変更無。  
→老朽化により現庁舎の維持は困難。二拠点間の移動は？デジタル技術の活用などが課題。
- ごみ処理体制：独自に焼却施設を整備するのではなく、広域的連携で財政負担を軽減。  
→鎌倉市は生ごみ処理施設の建設を逗子葉山と約束。住民の反対もある中で今後の対応は？

待機児童9人？保育園に入れない人はもっといいる！保留児童って？



ご意見・ご相談はLINE又はメールにてお知らせください！

YouTube 毎週土曜22時からLIVE配信中！